

ほっと ねっと 通信 Vol.16

2017年4月 発行

☆ わたくしたちは、あらゆる暴力に苦しんでいる
女性と子どもを支援します。

NPO 法人 新居浜 ほっとねっと

法人登記 2008年12月4日

発行責任者

NPO法人新居浜ほっとねっと

〒792-0023

愛媛県新居浜市 繁本町8-65
新居浜市まちづくり協働カオイス内

相談電話番号 **080-1996-3609**

mail: niijama.hotnet@gmail.com HP: niijama-hot.net



★CONTENTS★...

1 みなさまへ・研修報告

2 講演会・研修会などに
参加して—— 感じた思い

3 活動報告

4 お知らせとお願い
ほっとねっとの相談室
ほっとねっとの相談電話
4月からの予定
講演会の予告

みなさまへ

待ち遠しかった春のあたたかさに
ほっと一息つくこの頃です。

いつも応援を頂き、ありがとうございます。

◇ 研修報告 ◇ NPO法人女性の安全と健康のための支援教育センター
「女性への暴力被害相談に係る基本的考え方と実際について」

▷ 対等で安定した関係をいかに築いていくか。

まずは様子を見守る。信頼関係をつくり、穏やかに
ゆくりと話す、といった基本姿勢を忘れずに活動すること。
安全と安心感をもてる環境の確保、対応に役立つ
情報の収集と提供等、実践されている人の講座でした。

▷ 特に感銘し、女性の自立支援とは何かを深く考えさせ
られたのは、上岡陽江さんが話された、「入所型・女性
単身更生施設での「入所者と支援者のトーク」を傾聴したこと
です。

不満や罵倒、非難の言葉が助けを求めるサインだったり、
試しだったり、話をしても大丈夫かを確認する手段であること
など、支援者がその言葉の背景を深く読み取る力を
つける大切さを学びました。

村上美代子



1

2017年1月31日

平成28年度

配偶者からの暴力相談担当職員研修

「心理的虐待を受けた子どもへの支援を

考える～DVが子どもに及ぼす影響について」

講師: 社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会

愛育研究所 山本恒雄さん

▷特に印象に残っているのは、幼少期にDVを目撃したことだけが人生の問題点だったという方の脳が、視覚野の容積減少によるkindling現象(わずかな刺激でも扁桃体の異常な興奮が持続する)です。*

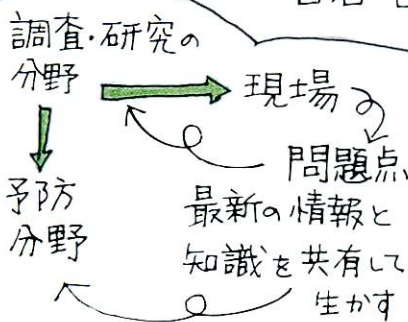
*現 福井大学 子どものこころの発達研究センター 友田明美 教授(2010)

人として成長していく過程、特に幼少期の記憶していないことが、脳に大きな影響を与えているのです。

子どもへの虐待は元より、目の前での暴力は決して許されぬ!!

全ての人がその意識を持てるように活動したいと思います。

白石 啓子



講演会
研修会などに
参加して...
感じた思い

NPO法人 女性の安全と健康のための支援教育センター 主催

〈支援者のための研修講座〉

平成29年2月11日(土)12日(日)の二日間
東京有明医療大学にて

テーマ「対人支援のあり方と社会」 1期(H28・7)
2期(H28・11) 3期(H29・2)と、トータル 24コマの
講座を受講しました。

どの講座も、DV相談員としてのスキルアップにつながる内容でした。

直接、被害者と関わっている精神科医によるPTSDについての講義。

警視庁が取り組んでいる、性犯罪被害者支援の詳細な制度について、現役刑事さんから聞き、公費支出支援・医療機関と連携した支援・精神的支援など、警視庁が本腰をいれて対策を講じていることに感銘を受けました。官民間問わず、被害者に寄り添う支援が女性の安全と健康のためにつながるのだと学びました。

小川 美枝

2016年11月19日(実施)

テーマ「子どもの貧困」講演会

講師: 山内 幸春 さん

愛媛県 東予 子ども女性支援センター 所長

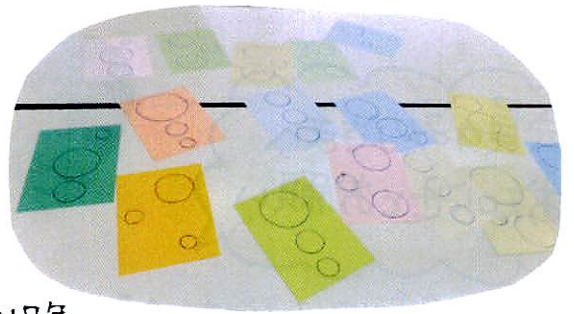
今、日本では6人に1人の子どもが貧困状態とされています。子どもたちは、経済的貧困・教育の格差 家庭での不適切な扱い(マルチトマツ)などの問題を抱えさせられている 厳しい現実を生きています。支援の形は様々ですが、私たちは良い未来をつなぐために心がけていきます。

藤野 良子



活動報告

2016年 ☆ほっとねっこの相談室
9月～3月 <毎週火曜日 13:00～17:00>



- 9月 3日 ほっとねっこのココロのケア講座(第4回)
- 13日 定例会
- 16日 元のステップハウス見学
- 10月 8日 ほっとねっこのココロのケア講座(第5回)
- 11日 定例会
- 25日 新居浜市補助事業公募審査会
- 26日 「NPOマネジメント講座」
～ 松山市福祉会館
- 11月 5日 ほっとねっこのココロのケア講座(第6回)
- 5～6日 女性の安全と健康のための支援教育センター
研修講座 ～ 東京有明医療大学
- 8日 定例会
- 17日 「地域で共創する『子どもの居場所』を考よう」
～ 伊予市総合福祉センター
- 19日 山内幸春さん講演会 テマ「子どもの貧困」
～ 新居浜市総合福祉センター
- 12月 13日 定例会

- 2017年
- 1月 10日 定例会
 - 31日 愛媛県DV防止情報交換会
シ DV相談担当職員研修会
「DV被害母子への支援」
 - 2月 1日 DV相談担当職員研修会
「性暴力・性被害児への支援～
児童養護施設における性問題行動への
対処と予防について」
 - 5日 ホンクシャツデー 愛媛 in にいはま 協力
 - 14日 定例会
 - 26日 新居浜地区 人身安全関連 專業連絡協議会
～ 新居浜警察署
 - 3月 12日 特定非営利活動促進法改正に関する
説明会 & ワークショップ
 - 14日 定例会
- 他に、市内のイベント等に参加させて頂きました。

「第4回 ホンクシャツデー 愛媛 in にいはま」に協力してのご報告

～いじめ防止・子どもの心を守ろう～
2017年2月5日 / ふれあいプラザ
ホンクシャツデー 愛媛 主催

LGBT についての理解も深めていきたいと
性的多様性 思います。

協力団体

- 障がい者福祉センター ●CAPにいはま
- 東予若者サポートステーション ●愛媛エンジェルス
- 詩倉人 ●島の風工房 ●放課後タイムケアすみれ
- Musical Fidelity ●NPO法人新居浜ほっとねっこ

『ココロの相談室 あんね』を自宅で開設している
矢野利雄さんの講演会
「よりよい関係のつくりかた」は、講師の実践に
基づく示唆に富むものでした。
ホンクシャツデー 愛媛は、相談内容に応じて、
各連携団体につなぐ ポイプラインとしての
活動もしています。

次井

～ホンクシャツデー 誕生のエピソード～
2007年、カナダの2人の学生から瞬く間に
世界中に広まった、いじめ反対運動。
ピンク色のシャツを着て登校した少年が
「ゲイ」だといじめられた。
それを見た2人の学生が50着分のピンク色の
シャツを、友人・知人に配り、翌日登校した。
呼びかけに賛同した多数の学生がピンク色の
シャツを着て登校。学校中がピンク色に染まり
いじめが自然となくなった。
エピソードが SNS 等で世界中に広まり、
現在では75ヶ国以上の国で活動。
毎年2月の最終水よう日が ホンクシャツデーとして
定められている。



会員みなさまへ お知らせとお願い



当法人の活動は、みなさまの会費によって
支えられております。
ありがとうございます。
同封しております郵便振込用紙は、
平成29年度の会費の入金用です。
よろしくお願いたします。
また、みなさまのご友人、お知り合いの方に
新規見入会をお勧めくださいませ。

【年会費】

個人正会員	3,000円
個人賛助会員 1口	1,000円
団体賛助会員 1口	5,000円

郵便振替口座 口座番号 01640-8-139986
加入者名 NPO法人 新居浜ほとねと

愛媛銀行 新居浜支店 普通預金 5418933
伊予銀行 新居浜支店 普通預金 1691474
口座名義はいずれも「NPO法人 新居浜ほとねと」

ほとねとの相談室

毎週火曜日(祝日は休み)
13:00~17:00
ふれあいプラザ
(新居浜市総合福祉センター)
〒792-0031 新居浜市高木町2-60

ほとねとの相談電話

080-1996-3609
8:00~20:00

189 いちばんやく。
「気になるなあ？」と
思ったら→赤ちゃんは電話できないよ!

4月からの予定

- 4月 平成28年度決算・報告・監査
- 5月 平成29年度通常総会
- 6月 「ほとねと☆こころのケア講座」スタート

★講演会のお知らせ

2017年11月19日(予定)

講師は、朴和美さん
女性の安全と健康のための支援教育センター
理事

「多様化社会」を実現するには
どんなことが必要なのかを
一緒に考えてみましょう。